

2024 年度 WakuWaku あゆみ（放課後等デイサービス）事業報告

WakuWaku あゆみ 施設長 戸田拓郎

新施設での広々とした環境の中、こども達にとって安心・安全で且つこれまで以上に多彩な体験ができるよう活動内容を工夫して行ってきた。

令和 6 年度の報酬改訂により時間区分や個別支援計画等について大幅な変更があり年度当初は不明な部分も多かったが、こども家庭庁から随時示される情報の把握や他の事業所との情報交換を基に整理し、保護者にも都度丁寧な説明を行い、大きな混乱なく事業を実施する事ができた。個別支援計画については初めて参考フォーマットが示され、これを好機と捉え一人ひとりの支援計画を見直した。これにより広い視野で見ながら分析して計画を作成する事ができ、子どもの状態をより深く理解して支援する事に繋がられている。

前年度より平均利用者数が増え、日々多くの児童で賑わっている。一方で職員体制として常勤職員は変わらないが、非常勤職員が急な退職や長期間の休みもあり、安全に活動するのにギリギリの職員数になる事が多く、他の事業の職員の力を借りる事も何度もあった。また、各非常勤職員の勤務時間が多くなり負担となる状況が続いている。

〈活動内容〉

曜日別の活動を一部入れ替えたが、利用児に特に混乱は見られなかった。各曜日の担当職員を中心に工夫して運動・食育・創作・音楽・お出かけ等の活動を行ってきた。

4 月より金曜日の音楽活動に月数回、講師を招いてリトミックを行った。当初の想定では低学年の児童を対象にしていたが、高学年や中高生にも好評で楽しみにしている子どもも多かった。他にも、声楽コンサートを実施する等、外部の人材を活用して普段できない体験を提供した。

〈家族支援〉

3 月に 2 回目となる家族の交流会「ファミリー交流カフェタイム」を実施した。9 家族 23 名の参加があり、今年度も大いに盛り上がり、家族同士や職員との交流を深められた。

〈地域連携〉

平城中学校区地域教育協議会よりお声がけ頂き、平城中学校の生徒の地域活動に共に参加させて頂き、12 月に、近隣の畑で中学生と一緒に大根引きを行った。初めてという事もあり利用児童と中学生が直接関わるのは限定的であったが、あゆみの事を知ってもらい今後交流を深めていくきっかけとなった。

また、奈良市障がい児通所支援連絡協議会への参加を継続し、他事業所との情報共有を行った。事業所見学会にも参加し、他の事業所の見学を通して支援内容や工夫を知る事ができた。また見学会の受け入れ事業所としては、活動や支援を振り返るきっかけとなり、事業所の事をより知ってもらう事もできた。

〈職員研修〉

外部研修として、自閉症 e サービスの研修に 2 名参加、講座「障がいのある人の性のある暮らしについて考える」に 2 名参加した。

内部研修を概ね 2 か月に 1 回実施して、スキルアップを図った。

〈利用者数〉

卒業生 2 名に対して新入生が 5 名入り契約人数が増加した。各曜日とも平均的に利用者数が増え、定員を超えて利用をお断りする日も毎月数日あった。お断りする日や利用のキャンセルがあった場合には空きのある別日への振り替えを案内する等、利用日数が減らないように努めた。利用者によって利用頻度の増減はあり、また年度途中で 2 名の退会者はあったが、最終的に平均利用者数は増えて目標の 12 人を達成した。月 2～3 回実施した土曜日に関しては平均利用者数が 6.9 人と、前年度の 4.4 人よりは増えているものの伸び悩んでおり、今後の課題として残った。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約人数	48	48	48	48	48	48	46	46	46	46	46	46	
営業日数	24	22	22	23	19	21	24	22	22	21	20	22	262
延べ回数	274	252	264	288	249	265	280	261	256	245	244	267	3145
1 日平均	11.4	11.5	12	12.5	13.1	12.6	11.7	11.9	11.6	11.7	12.2	12.1	12.0